

コンテンツマネージメントシステム ってなに？

そして、Zope/Plone とは

jack(加藤 賢哉)@日本Zope ユーザ会
株式会社シナジーズ・ジェーピー

CMSとは(e-words より)

- **Webサイト**を構築するには、テキストや画像を作成するだけでなく、**HTML**や**CSS**などの言語でレイアウトや装飾を行ない、ページ間に**ハイパーリンク**を設定するなどの作業も行なう必要がある。これらの要素を分離して**データベース**に保存し、**サイト構築**をソフトウェアで自動的に行なうようにしたものがCMSである。
- CMSを導入すれば、テキスト制作者はHTMLなどの知識を習得する必要はなく、デザイナーはテキストが更新されるたびに作業を行なう必要はなくなり、それぞれ自らの作業に集中することができる。また、サイト内のナビゲーション要素なども自動生成するため、ページが追加されるたびに関連するページに**リンク**を追加するといった煩わしい作業からも解放される。CMSの中には、サイトのデザインを「**テンプレート**」(ひな型)としてあらかじめいくつか用意しているものもあり、これを使えば画像の作成やデザインなどを行なうことなくサイトを構築することができる。
- CMSには、作成できるサイトの自由度の高い汎用的なソフトのほか、**Wiki**や**Weblog(Blog、ブログ)**など、コンテンツの管理の仕方やサイトのコンセプトに特徴のあるソフトもある。また、それぞれについて、企業のサイト構築に利用するための商用ソフトウェアや、無償で公開されている**フリーソフトウェア**がある。Webサイトのホスティングの形でCMSが利用できるサービスもある。

わかんぬ一歩!!

機能で説明

CMSを構成する要素

- CMSは以下のような要素からなります。
 - トップページ(笑)
 - ユーザに応じたトップページ
 - 左上のロゴを押すとトップページ(みんな慣れたでしょ?)
 - ユーザ管理システム
 - アクセスコントロール
 - ワークフロー
 - デザインテンプレート
 - ドキュメント管理
 - プラグイン・拡張機能
 - プラグインAPI(独自拡張のための機能)
 - 検索機能
 - 多言語対応機能
- など・・・でも、全部ある必要はありません。

便利なの？

CMSじゃないと何がイヤか？

- Webコンテンツ配信の準備作業がイヤだ
 - じゃ、自動化します
- cronでのコピーがうまくいってるか確認するのがイヤだ
 - 成功したか失敗したか通知します
- 失敗時の手作業でのリカバリがイヤだ
 - そんなこといわれても・・・ちょっと考えます
- 構成が変わるときのFTPなどのスクリプト 変更がイヤだ
 - 開発環境を用意して十分にテストできるようにしました
- 開発環境から実環境のコピーがイヤだ
 - そんなこといってもコピーしてくれないと困ります・・・
- 夜間のドキュメント切り替えに対応するのがイヤだ
 - そういえばatは使ってないですね
- だれがやったかわからないのがイヤだ
 - IDを一個にしてくれていったのはダレだっけ？

BlogはCMS?

Blog はCMSか？

- CMS というのはかなりいい加減な言葉です
 - あえて言えば「ホームページ」くらい曖昧です
- Blog の三大要素(勝手に名付けた)は、カテゴリ、コメント、トラックバックです
 - つまり、コメントとトラックバックというリスト属性を持つエントリというコンテンツタイプと、カテゴリというエントリをまとめるためのメタなコンテンツタイプがあります
- ですから、実装的にはBlog は CMS と言えると思います。
- 違う意見があり得ることは否定しません(笑)

ポータルは？

ポータルとCMSの関係



- **ポータルはCMSを内包します**
- **そもそもポータルとは**
 - 「入口」という意味です。
 - それも豪華とか、様式的な、みたいな意味で「エントランス」と区別される単語で、そもそもの語源は港(port)です。
 - 鉄ヲタなヒトは扁額の付いたトンネル「ポータル」などでこの単語を知っているかもしれませんが(図参照。様式的な入口でしょ)。
 - Yahoo などのなんでもある巨大サイトをポータルと名付けたのがきっかけですが、細分化に伴ない、入口ならなんでもポータルになりました(大雑把です)。
 - Yahoo も検索じゃなくてディレクトリはCMSの仕組みを使っていると考えられます。ヤフオクもCMS的ですね。
 - Enterprise Information Portal(企業内情報集約の仕組み)なんてのもあります。これはよりCMS+DBアクセスに近いです
 - さらにECMという包括的な概念もあります
- **狭義のWebCMSはポータル要素を持ちます**
 - それっぽイトップページがあればポータルなんデス!(強引・・・)

WiKiはどうよ？

Wiki はCMSといえるのか

■個人的には微妙・・・

- 確かにコンテンツを管理することはできます。

■Wiki の特徴は

- 不特定/特定多数の人でサイトを 作る仕組み。
- WikiWord で新しいページがすぐ作れる。しかもリンクも自動。
- いくつかの決まりで、リンク、リスト やテーブルが書ける。html覚えるより 楽。
 - でも、細かく 配置しようとする と苦勞することもある。
- 基本的に性善説なシステム
 - ヒストリ機能がなければ、だれが何やったのかわかんない。
 - ここがひっかかります。それって「管理」と言えるのか？
でも、あまり制御掛けすぎてもWikiっぽくないし・・・

結局CMSって？

CMSってなんでしょう

- CMSというのはいいかげんな言葉です。
 - なので、どう定義してもウソにはなりづらいです。
- でもそれでは話にならないので分類します。
 - Web Based の CMS
 - 単にCMSと言えば、ほとんどの場合こちらを指します。
 - 広義のCMS
 - Web 上でコンテンツを簡単に作成したり編集したりできるもの全て。
 - Wikiも少なくともこちらには入ります。
 - いくぶん狭くなったCMS
 - コンテンツを管理するために以下の要素があるもの。
 - ユーザ管理
 - 公開管理
 - 変更管理
 - Blog はこちらに入るかもしれません
 - Web 以外のコンテンツも管理できるCMS
 - 文書管理システムとしてはイメージとして取りこんだり、OCRを駆使して統合的に管理するソリューションがあります
 - さらにECM(Enterprise Contents Management)という、それにBPM(Business Process Management)や電子帳票統合などを組み込んだものもあります。
 - そうでなければ、ERP(Enterprise Resource Planning)じゃないですか？
 - ERPの話は省略します。ZopeにはERP5がありますが・・・

CMSの起源と発展

- **最初のWebCMSは、1995年ごろからCNETで使われていたVignetteといわれています。**
- **その他の黎明期のCMSはドキュメント管理システムにワークフローを追加したものが多ようです。**
- **有名な製品では、Vignetteの他にDocumentum や Interwoven もあります。**
 - **これらの製品はいまでも販売されてます。**
 - **で、すんげえ高いです(参考:2000万円~)。**
 - **しかもOracleのコストが別にかかることが多いです。**
- **オープンソースのCMSは1998年くらいから各種のものが出現しはじめました**
 - **Zopeは結構古いです。1996年生まれです**
 - **アナウンスされたのは1998年の年末です。**

Web Based CMS に求められる要件

■ ビジュアルテンプレートによる自動化

- 一般的なコンテンツは文字を流しこむだけがいいですね。

■ コンテンツ編集の容易性

- どんなコンテンツも簡単に編集できるものが望ましいです。

■ ワークフローマネージメント

- ユーザに役割を与えて、コンテンツの状態をトレースしたいです。

■ Webスタンダードへの追随

- 各種スタンダードへの準拠や、新技術への取り込みは必要です。

■ メンテナンスコストが低いこと

- インストールだけではなく、使いつづけるのが楽なのが一番です。

■ スケーラブル環境実現機能

- もし、すごいサイトに育ったとしても、簡単に展開したいです。

■ それを支える要件:

- セキュリティ情報やFixの速さ

- 利用者の多さ、開発者の多さ、欲を言えば日本においても

- 「多少英語は読めるけど・・・」な人でも使えるものがうれしいです。

- 開発スピードが速いことと、少し前のバージョンの保守性

- どんどん新技術は出てきますし、使いつづけるには少し前のバージョンでも Security Fix だけは欲しいです。

ここまでのまとめ

■ Wiki(ウィキ)

- WikiWord が使えてページリンクが簡単にできる
- ちょっとした決まりでタグ打ちが不要になる
- それが基本的にブラウザ経由でできる

■ Portal(ポータル)

- なんでもあるサイト、または特定の事柄に特化して集約した情報の入口
- 宣言したものの勝ち(おい)
- 実質的にユーザ管理は必須となる

■ Blog

- カテゴリ、コメント、トラックバックの三要素を持つ
- Wikiと違い、双方向性は薄い
- エントリとカテゴリに特化したCMSと言ってもウソにはならない

■ CMS(狭義のWebCMS)

- ユーザ管理、変更管理、公開管理の三大管理要素を持つ
- ワークフロー、コンテンツのテンプレート機能を持つ
- それらのカスタマイズ、機能追加が容易である。